

2021（令和3）年度 福岡女子大学 一般選抜個別学力検査

〔 後期日程試験問題 〕

食・健康学科

小論文

【 90 分 】

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題は4ページから9ページにあります。問題は全部で**2題**です。
- 3 解答用紙には裏にも解答欄があります。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験開始と同時に解答用紙の**受験番号欄**に**受験番号**を記入してください。
- 6 試験終了後、**問題冊子は持ち帰ってください。**

問題 I 高齢者の低栄養^(注)に関する記述である。下記の文章を読んで問に答えなさい。

文章

私たちが健康を保つためには、栄養バランスのとれた、適切な量の食事をとることが重要です。食べることは食欲を満たしエネルギーと栄養を補給するだけでなく、生きる楽しみにもつながります。

しかし、加齢や体の障害のためにかむ力や飲み込む力が弱くなると、食べることの楽しさが失われていくことがあります。かむ力が弱いために、かみにくい肉や繊維質の多い野菜を避けてしまったり、飲み込む力が弱いために、食べ物がのどにつかえたりむせてしまったりして、食べるのが難しくなってしまうことがあります。その結果、食べられる物が偏ってしまったり、食べる量が減ってしまったりするおそれがあります。一方、「加齢に伴う筋力の減少、または老化に伴う筋肉量の減少」を「サルコペニア」といい、この要因は、いまだ十分解明されているわけではありませんが、低栄養状態になると、サルコペニアにつながり、活力低下、筋力低下・身体機能低下を引き起こし、活動の程度や消費エネルギー量の減少、食欲低下をもたらし、さらに栄養不良の状態を促進させるという悪循環(図 I-1)に陥ってしまうとされています。

国立長寿医療研究センターが、在宅療養患者の高齢者を対象に平成 24 年に行った調査によれば、「低栄養」の人が 37.4 % もおり、さらに「低栄養のおそれあり」も加えた割合は、約 7 割にもなっています(図 I-2)。低栄養になると、免疫力が低下して病気にかかりやすくなったり、歩くのが遅くなったり、歩けなくなったりするなどの症状が現れるとされています。このように、低栄養になることによって、介護が必要な状態につながりやすくなるおそれがあります。

(注) 低栄養とは、健康的に生きるために必要な量の栄養素が摂れていない状態を指します。

(厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット 健康用語辞典

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/food/ye-021.html>

2020 年 11 月 18 日取得 問題作成のため抜粋、一部改変)

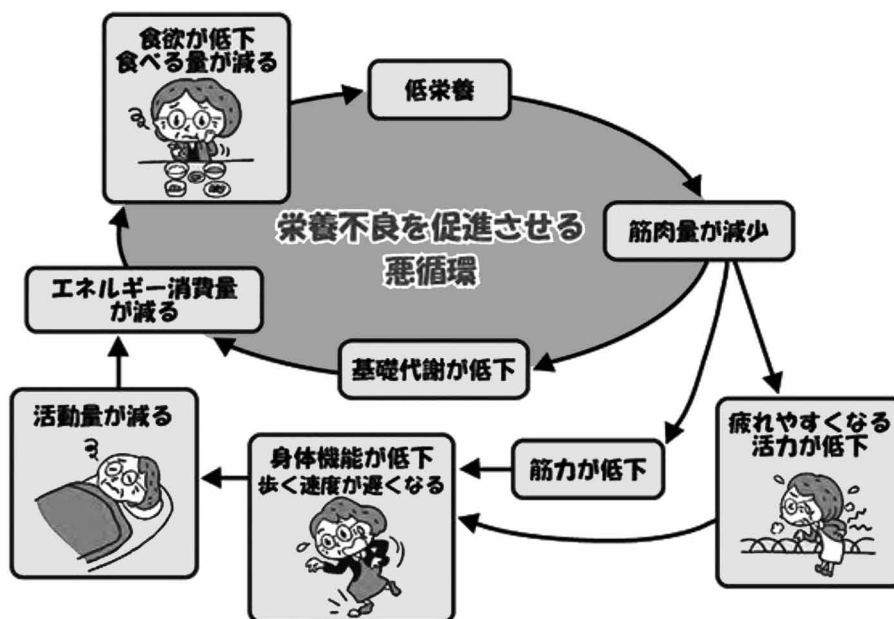


図 I-1 栄養不良を促進させる悪循環

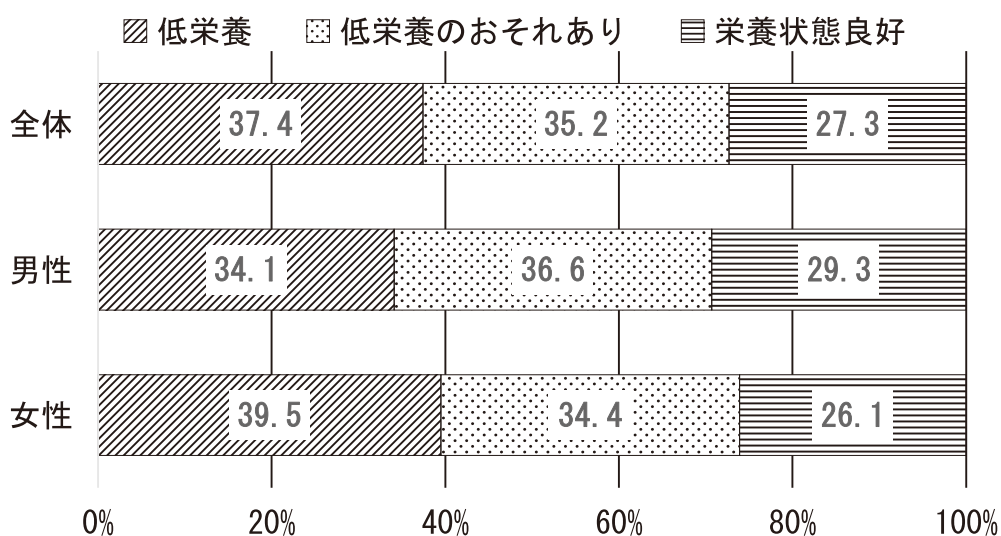


図 I-2 在宅療養患者の高齢者の栄養状態^(*)

資料：独立行政法人国立長寿医療研究センター「平成 24 年度老人保健健康増進等事業 在宅療養患者の摂取状況・栄養状態の把握に関する調査研究報告書」

※自宅で訪問診療、訪問介護、訪問リハビリテーションなどを受けている、65 歳以上の「在宅療養者」を対象に調査。

出典

あしたの暮らしをわかりやすく 政府広告オンライン

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201501/1.html#anc01>

2020 年 9 月 4 日取得 問題作成のため抜粋、一部改変

問1 高齢者の低栄養の問題について、本文や図を参考に150字以内で説明しなさい。

問2 高齢者の低栄養を改善するために、あなたはどのような対策を提案しますか。

本文や図を参考に、あなたの考えを200字以内で述べなさい。

<メモ欄>

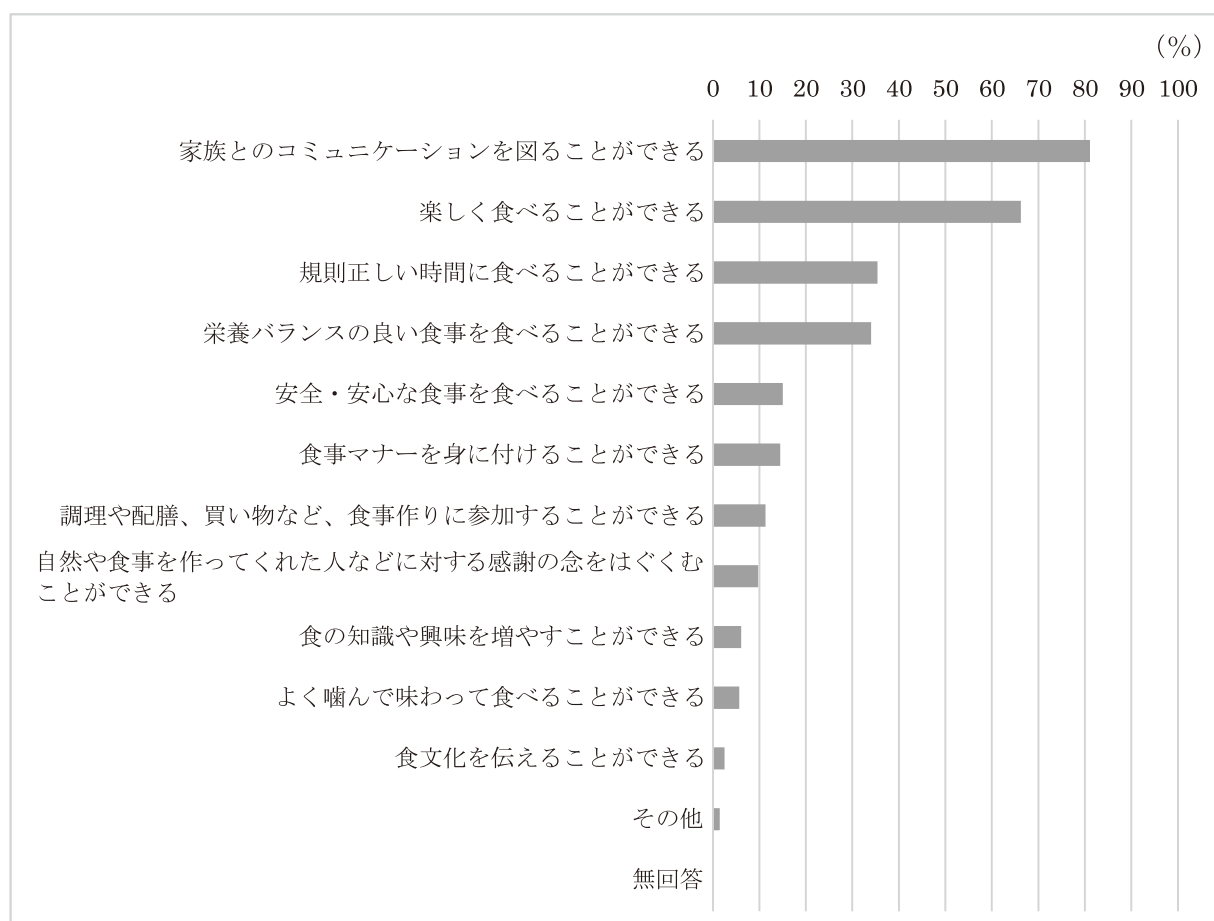
問題Ⅱ 下記の文章を読んで問に答えなさい。

文章

食文化研究者の石毛直道は、「『人間は共食（きょうしょく）する動物である』ことが、動物の食事と人間の食事を区別する特徴¹⁾」であると指摘している。誰かと一緒に食卓を囲み、会話を楽しみながら食事をするような共に食べる行為、つまり「共食」は、人間の文化的な特徴のひとつである。

図Ⅱをみると、人々は「共食」にさまざまな利点があると感じていることがわかる。そのためか、現代社会において、ひとりで食事をする「孤食」や、一緒にいても別々のものを食べたりする「個食」をする場面が増えていることに対しては、問題だと指摘されることもある。

しかし、新型コロナウイルスの流行下においては、感染防止対策の観点から従来通りの「共食」が難しいものになり、むしろ「孤食」や「個食」が望ましい場面もでてきている。



図Ⅱ 共食に伴う利点（3つまで複数回答可）²⁾

資料：内閣府「食育の現状と意識に関する調査」H23年3月

出典

1) 石毛直道・鄭大聲編著「食文化入門」講談社サイエンティフィク、2007年、pp.3-4.

2) 農林水産省「みんなの食育」 https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/minna_navi/topics/topics1_02.html

2020年12月17日取得 問題作成のため抜粋、一部改変

問1 人が、他の人と「共食」をすることにはどのような意味があるのだろうか。また新型コロナウイルスによる感染症の流行を経験した今後の社会において、「共食」は変わっていくのであろうか。

これからの「共食」について、あなたの考えを500字以内（タイトル除く）で自由に論じなさい。その際、50字以内のタイトルをつけなさい（解答用紙のタイトル欄に記入すること）。